

加工・業務用向け野菜の取組事例

1. 経営体の概要

- 名 称 有限会社 古賀農産
- 所在地 福岡県久留米市城島町
- 従業員数 役員2名、社員7名、パート1名
- 経営面積38ha
キャベツ:20ha(全て加工・業務用)
水稻:(主食4.9ha、飼料用9.5ha、WCS11ha)
麦類:20ha
- 主な契約、提供先
カット野菜工場、外食チェーン事業者、
冷凍食品事業者ほか

2. 取組の経緯と特徴

No: 1

- 米・麦・大豆の営農では収益性に限界を感じ8年前からキャベツ栽培に取り組み青果で契約販売を始めた。
- 青果での出荷は、出荷用段ボールの経費が嵩み人手も必要であることから、加工・業務用に取り組むこととし、無選別で、大型金属コンテナ(400kg入:通常の段ボール箱の40倍)を使用し、主に自社トラックで契約先へ出荷することで作業の省力化及び経費削減を図っている。
- 全自動定植機、収穫機を導入することで作業員の労働環境の改善と作業の省力・効率化を図っている。
- 肥培管理においては、GPSを搭載したグランドソーを活用し、誰が作業しても同じ施肥作業ができる環境を整備している。

3. 今後の目標と課題への取組

いつでも同じクオリティのキャベツの安定供給を行うため以下の課題に取り組んでいる。

- 出荷に際しての品質保持、出荷調整のため冷蔵庫の整備(本年度建設中)。
- 供給が不足する5~9月に出荷できる品種の導入や作付面積拡大。
- 経営規模拡大のため、マネージメントができる社員育成。
- 新規販売先の開拓
- 昨今の夏場の異常気象に対応する圃場環境の整備(乾燥対策や水害対策)。



全自動定植機



GPS搭載グランドソー



キャベツ収穫機械



出荷用金属コンテナ

〈お問い合わせ先〉

有限会社古賀農産 (0942-62-3239)